

事業番号	07 05 02	<b>事業改善シート（令和4年度実施事業分）</b>				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	食品産業の活性化	部局	産業労働部	課・室	産業技術課日本酒・ワイン振興室				
		実施期間	H20 ~	E-mail	jizake@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	①労働生産性								
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成			2-2 地域内経済循環の促進			2-5 地域に根差した産業の振興		
	6-2 信州のブランド力向上と発信								

### 1 現状と課題

- ・食品製造業を取り巻く環境は、国内市場は人口減少等により縮小しているが、世界市場は富裕層の増加等により拡大している。
- ・特に近年、食品の機能性が注目され、それをアピールすることができる「からだに優しい食品」への関心が世界的に高まっている。

### 2 事業目的

- ・食品製造業振興ビジョンに基づき、長寿県NAGANOの「からだに優しい食品」の創出・提供を核として、国内外の食市場で優位性を確保する食品製造業の実現を図る。
- ・新たな食品開発の仕組みづくりにより、技術開発や新技術・新製品開発の促進を図り、食品産業の活性化を図る。

### 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①信州フードスペシャリスト育成プログラム
- ・発酵食品や伝統技術を踏まえた新たな食品づくりができる技術系人材を育成するため、産官学の連携による講座の実施
- ②県産発酵・伝統食品を活用した新食習慣の発信
- ・県産発酵・伝統食品への消費者の理解を高めるため、県産発酵・伝統食品レシピコンテストの実施
  - ・県産発酵・伝統食品レシピ等の普及拡大を図るため、「発酵・長寿ポータルサイト」を活用した発信

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	しあわせ信州食品開発センターによる新食品商品化件数	件	20	23	↗	21	↘	20	達成	新商品の創出を把握するため指標として設定。 「長野県食品製造業振興ビジョン」における、新食品商品化数は5年間で100件としており、最終年度である令和4年度は20件を目標とする。	
②	品評会参加事業者数	者	132	160	↗	152	↘	170	未達成	県産食品の品質向上と技術研鑽の成果を把握するため指標として設定。 食品の製造技術向上支援対象事業者339者のうち、過去の実績を踏まえ、半数以上の事業者の参加を目標とする。	

### 5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	284,835	94,336	△ 65,400	313,771	11,474	312,186	1.5
R3年度	636,400	19,966	0	656,366	11,027	135,811	1.5
R2年度	0	23,571	840,230	863,801	12,457	225,220	1.5

事業番号	07 05 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	食品産業の活性化		部局	産業労働部	課・室	産業技術課日本酒・ワイン振興室		

## 6 主な取組実績と成果

### 信州フードスペシャリスト育成プログラム

信州大学と連携し、「信州フードスペシャリスト育成プログラム」を実施した。（講義数：120分/1コマ×60コマ）プログラムには、23名が受講し、受講者全員が修了した。

### 県産発酵・伝統食品を活用した新食習慣の発信

県産発酵・伝統食品を活用した新食習慣の普及を図るため、発酵レシピコンテストを開催した結果、43品の応募があった。このうち、上位4品のレシピについては、調理動画を「発酵・長寿」ポータルサイトで紹介した。

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	しあわせ信州食品開発センターによる新食品商品化件数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	達成
機能性成分を含む商品等、高付加価値商品の開発に向けた相談等が増えており、目標を上回ることができたと考える。							
指標②	品評会参加事業者数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
食品製造事業者の高齢化等により、参加事業者が減少しており目標値を下回ったと考える。							

## 8 今後の事業の方向性

### (1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・近年、消費者の健康志向や環境問題等に対する意識の高まりにより、消費者のニーズが多様化している。
- ・国内需要の減少、原材料等の高騰など、食品産業を取り巻く環境は厳しさを増している中、事業者同士が互いに製造技術等を競い合い、「県産品のブランド力」を高める、新商品開発等の取組が食品産業界に求められている。

### (2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・産学官の連携強化による、食品製造技術者の育成を支援する。
- ・多様化する消費者ニーズに対応するため、マーケットインの発想による商品開発に向けた支援を実施する。
- ・県産食品の品質向上及び製造技術の研鑽のため、品評会を開催する。

事業名	<b>食品産業の活性化</b>	部局	産業労働部	課・室	産業技術課日本酒・ワイン振興室
-----	-----------------	----	-------	-----	-----------------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
<b>1</b>	<b>「食」と「健康」ラボ機能形成事業費</b>	16,437 千円	15,565 千円	15,221 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州フードスペシャリスト育成プログラム	委託	国内外のトレンドを読み解き、伝統技術を踏まえた新たな食品づくりができる研究開発人材の育成を大学と連携して実施（委託先：信州大学） 講義数：1コマ120分×60コマ	
2	研究会による新商品の研究開発プロジェクト	負担金	「食」と「健康」ラボ研究会による新商品開発プロジェクトの実施や食品開発に係る研究・講演会を開催（負担先：長野県食品製造業振興ビジョン推進協議会） 新商品開発企業件数：5件	
3	食品関係認証取得支援事業	委託	新食品開発スペシャルアドバイザーを配置し、消費者ニーズに合った新たな食品開発を支援（委託先：（一社）長野県食品工業協会） 相談支援件数：40件	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
<b>2</b>	<b>「発酵・長寿」ブランド形成事業</b>	4,928 千円	1,745 千円	3,705 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県産発酵・伝統食品を活用した新食習慣の発信	委託	県産発酵・伝統食品への理解を深めてもらうため、簡単・時短、栄養バランスの取れたレシピ動画をホームページで発信 新規レシピ掲載数：4件	
2	「発酵・長寿」プロモーション事業	委託	全国発酵食品サミット等へ出展し、県内食品企業が得意とする発酵技術や伝統技術を駆使した食品を全国に発信（委託先：（一社）長野県食品工業協会） 食品展示即売への出展回数：1回	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
<b>3</b>	<b>食品産業技術高度化推進事業</b>	610 千円	615 千円	425 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	品評会の開催	直接	本県を代表する食品（清酒・みそ・甘酒・そば・豆腐・醤油）の製造技術や品質向上を図るため、関係団体と共催で品評会を実施 品評会の開催回数：6回	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
<b>4</b>	<b>食品産業輸出向けHACCP等対応施設整備事業補助金</b>	168,723 千円	117,886 千円	292,835 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	食品産業輸出向けHACCP等対応施設整備事業補助金	補助金	食品製造事業者の海外展開を推進するため、輸出先国のニーズに対応したHACCP等の基準を満たす施設の整備等を支援 事業実施カ所：3カ所	